



■ 本資料の位置づけ

- 本資料は、広域被災データベース・システムの導入に際し、起動・運用・停止に関する業務を「人が行う作業」と「システムが行う作業」に分けて示したものです。
- システムの標準仕様が業務の中でどのような位置づけにあるのかを明確にし、地方自治体職員および事業者の共通理解を促すことを目的としています。
- 本業務フローは石川県における事例を基に参考として位置づけています。実際に導入する地方自治体ごとに、個別にカスタマイズしてご活用ください。

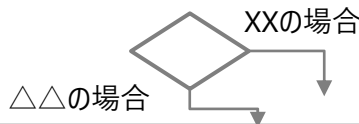
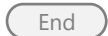
■ 目次

I. 作成ルール	: 2p～	
II. システムの起動	: 4p～	(導入手順書_3.6)
III. システムの運用	: 10p～	(導入手順書_3.7)
IV. システムの停止	: 13p～	(導入手順書_3.8)

i .作成ルール

i .作成ルール

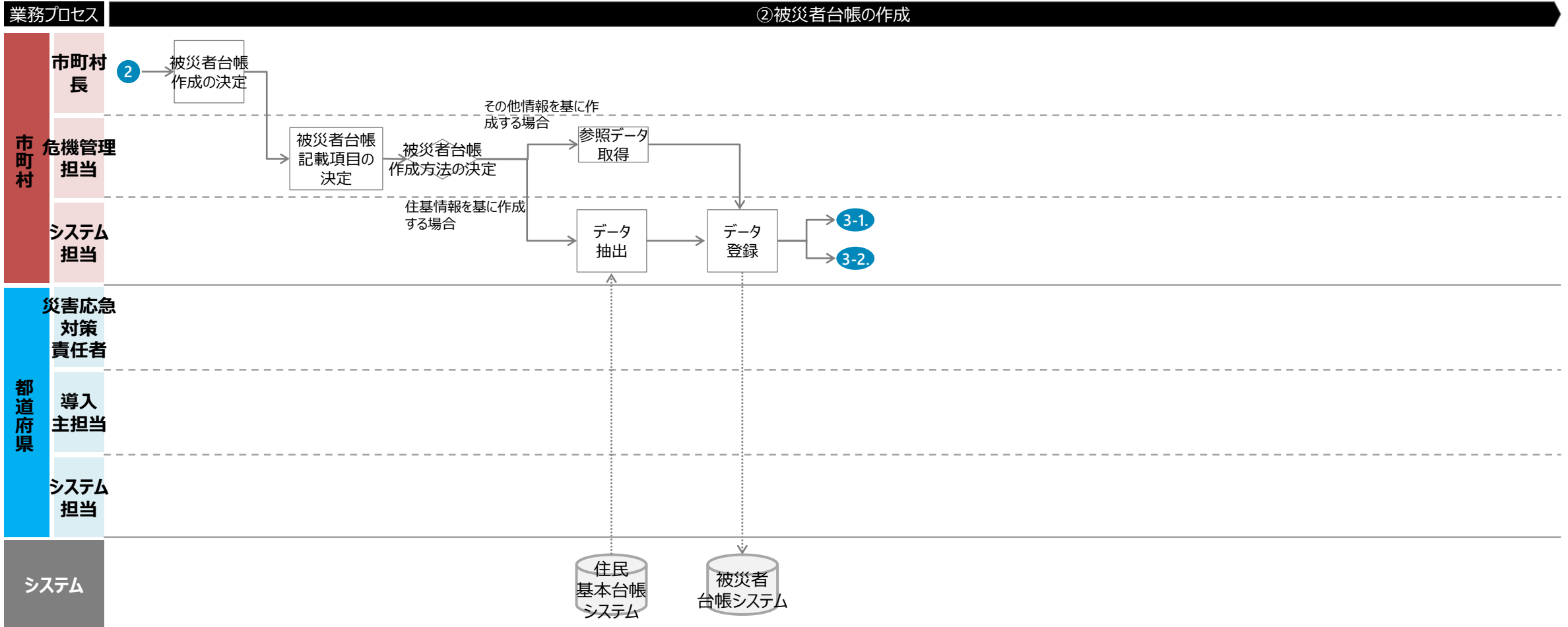
- 業務フローは、以下凡例を用いてBPMN（[地方公共団体の基幹業務システムの標準仕様における業務フローについて](#)）のルールに則り作成しています。

#	フロー名称	オブジェクト	内容
1	作業(アクティビティ)		業務プロセスを構成する具体的な作業
2	システム		利用するシステム
3	プロセス・ページ間のリンク		番号を振って同じ番号のところにリンク
4	業務の分岐		条件によって業務処理の流れが変わる際の条件分岐
5	業務プロセスの接続線		各業務プロセスへの接続
6	業務の終了		業務の終了

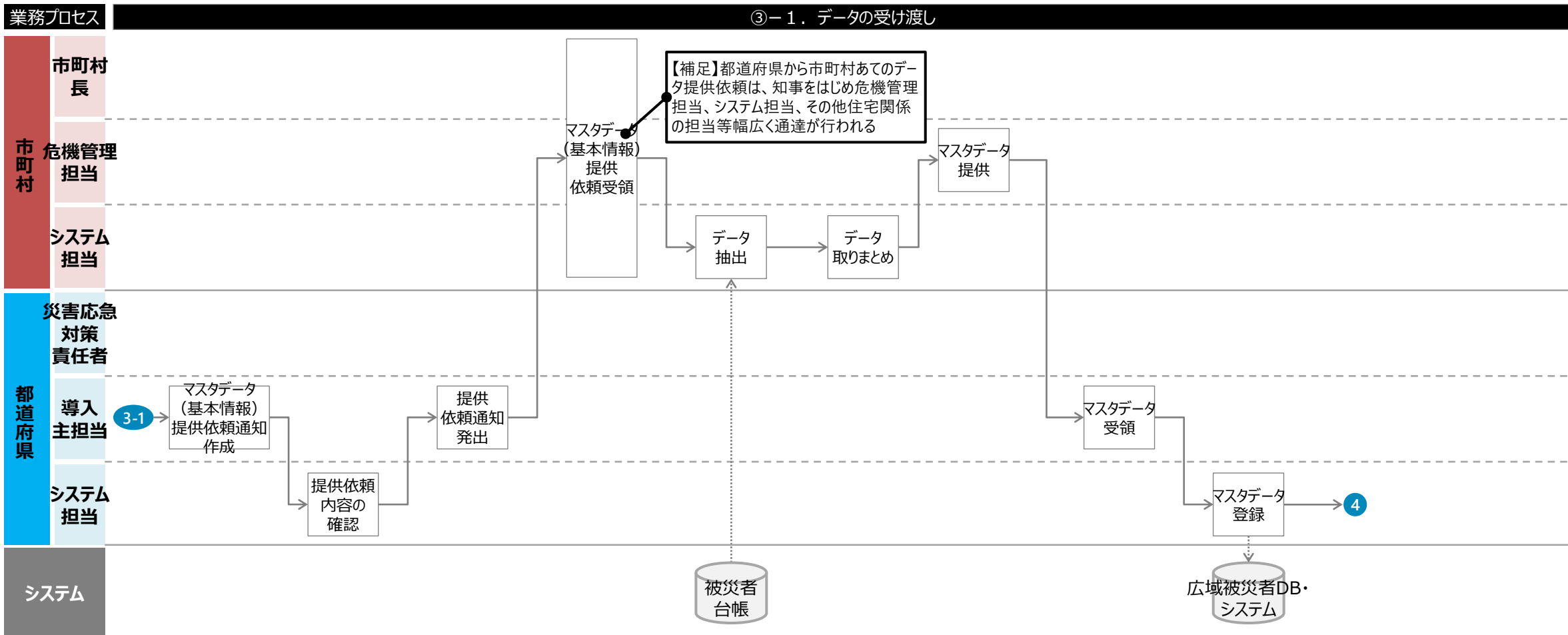
ii .システムの起動



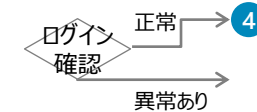
システムの起動（2/5）



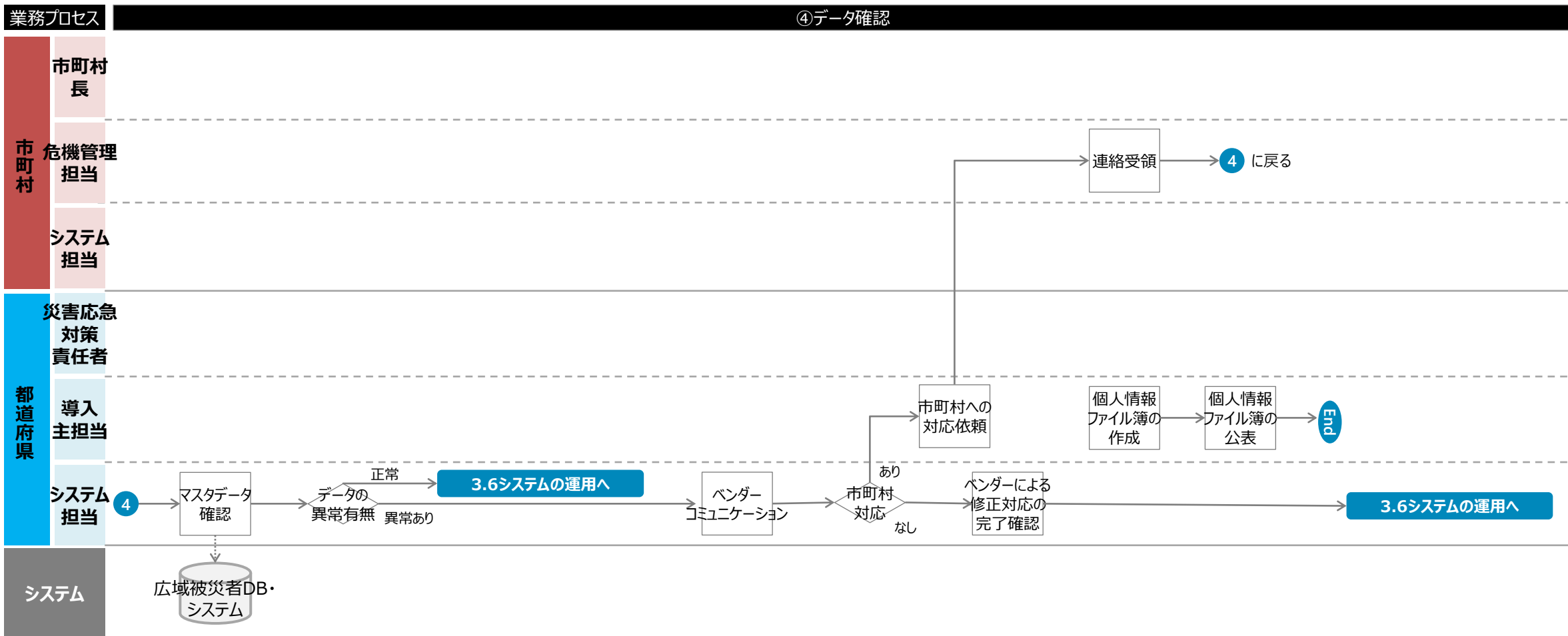
システムの起動 (3/5)



③-2.アカウント付与

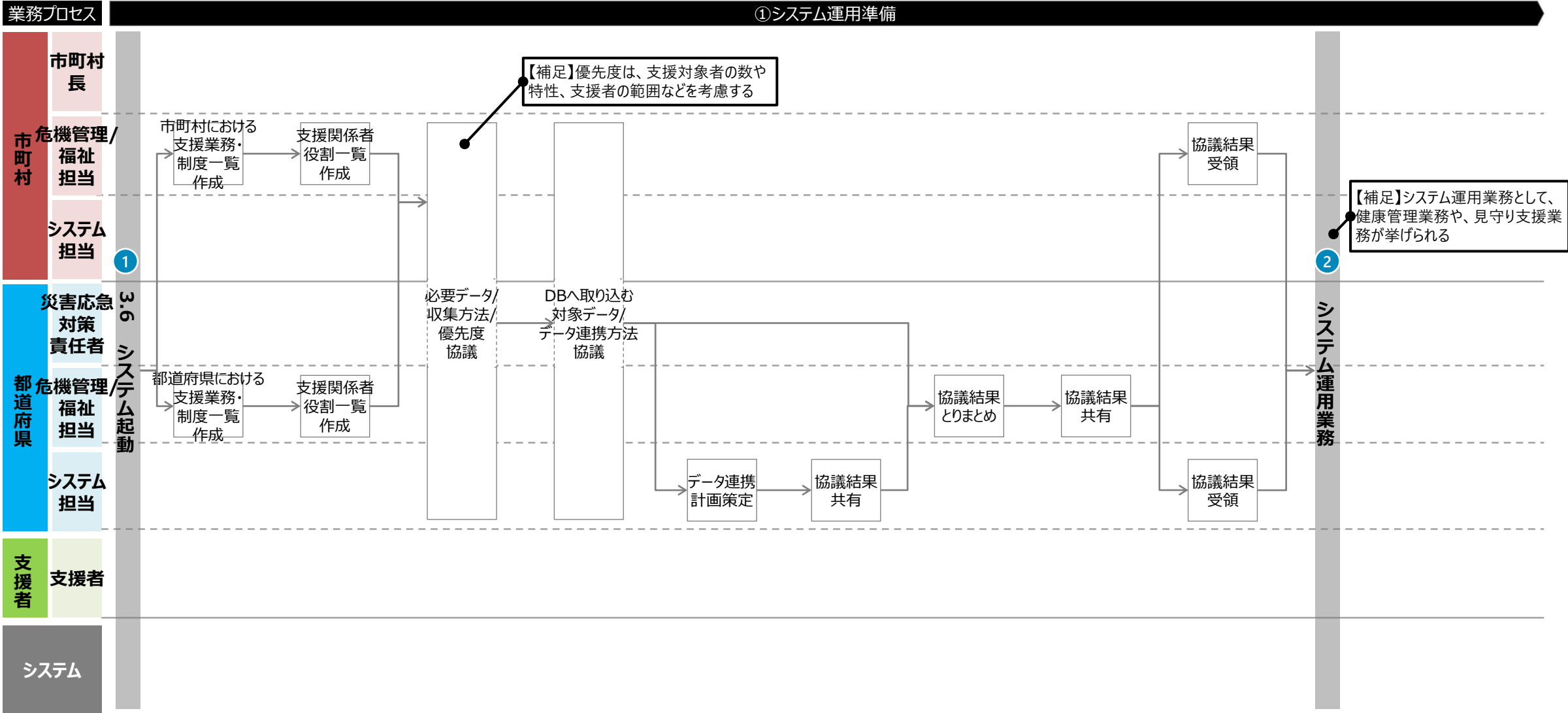


システムの起動（5/5）

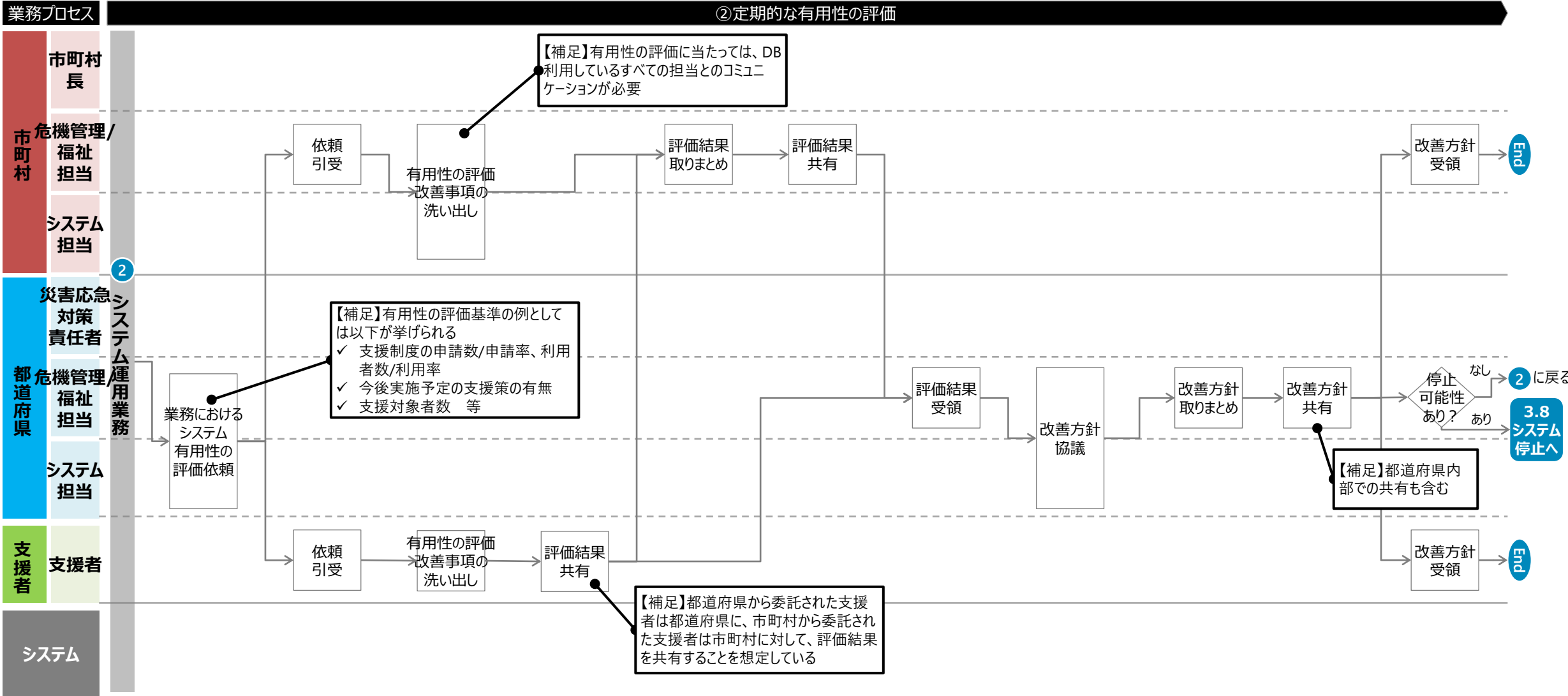


iii. システムの運用

システムの運用

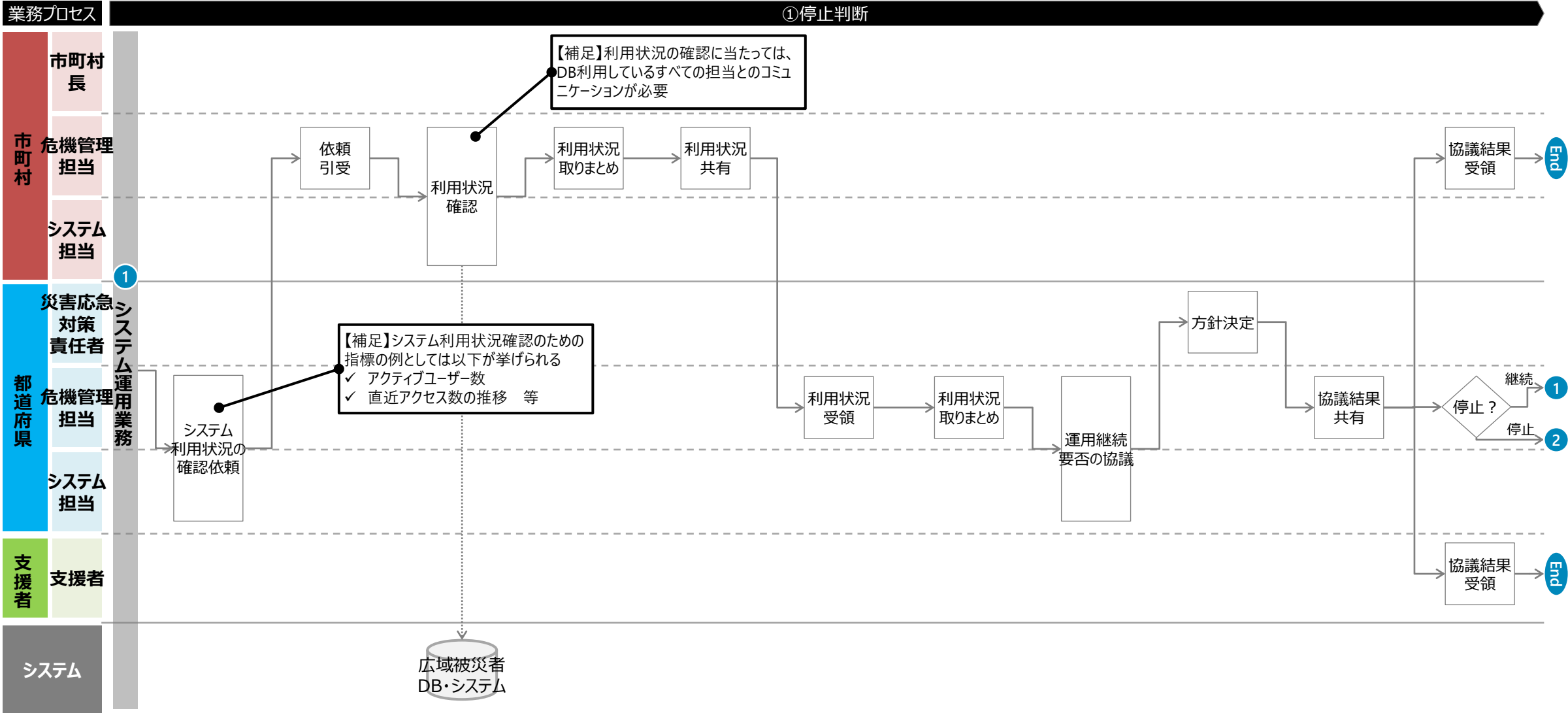


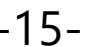
システムの運用



iv .システムの停止

システムの停止 (1/4)





システムの停止 (3/4)

